

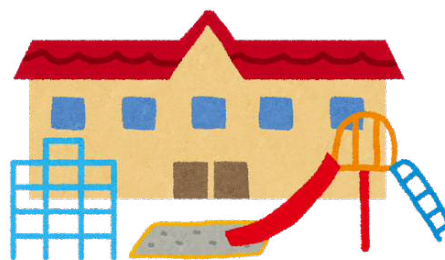
公立の就学前教育・保育施設再編整備計画

Q&A

認定こども園

保育園

幼稚園



子どもすこやか部

待機児童はゼロになるのですか

働きたいときにいつでも保育所に入れるようになりますか？



1万人のアンケート調査やワールドカフェ(子育て中の市民の方との座談会)などをもとに子ども・子育て会議(※)で17回も検討していただき、子ども・子育て支援事業計画を策定しました。認定こども園や小規模保育施設の整備を加速化し、平成31年度末には待機児童がゼロとなります。



※子ども・子育て会議
子ども・子育て支援法に基づき、学識経験者や保育所や幼稚園などの代表、そして公募の市民の方々に構成

認定こども園はどんな施設ですか



認定こども園ってどんな施設なんですか？お昼寝やプール遊びは出来るのですか？

幼稚園と保育所の良い所を併せ持つ認定こども園は、親の就労などの状況に関係なく、すべての子どもに教育と保育を保障するものです。

これまで保育所で培われた保育の質を確保しつつ、幼児教育と一体的に提供します。もちろん、午睡の時間や夏のプールなどこれまでと変わりありません



教育のみの子どもが帰ったら・・・

教育のみを必要とする子どもたちが
帰ったあとは、今の「延長保育」のよう
な感じですか



認定こども園では教育のみの子ども(1号認定)と保育を必要とする子ども(2号認定)と一緒に生活していますが、教育のみの子どもが帰った後も、保育内容を工夫することで園での生活がより楽しいものとなるように努めていきます



- 1号認定 3歳以上で教育を必要
- 2号認定 3歳以上の保育を必要
- 3号認定 3歳未満で保育を必要

認定こども園は給食ですか



認定こども園でも今までどおりの給食は出るのでしょうか？アレルギー食はどうなりますか？

認定こどもになってもこれまで保育所で行ってきた給食は行います。離乳食のきめ細かい対応やアレルギー食への対応などで変わることはありません



障害児保育は続けられるのですか

これまで行われてきた障害児保育は認定こどもになっても続けられるのですか？



認定こども園に移行しても、これまでと同様に、障害のある子どもの受入れや虐待など特別な配慮が必要な子どもと家庭に対する支援を行っていきます。

職員配置については、これまでと同様に、障害のある児童の保育も含め、必要な職員配置に努めていきます。

なぜ再編整備を進めるのですか



今の保育所がいいのですが、なぜ再編整備を進めるのですか

次の3つの点から再編整備を進めています
一つ目は子ども・子育て支援事業計画で公立の役割と民間の役割を整理し、地域の子ども・子育て支援の拠点として役割を発揮していきます
二つ目は公立幼稚園も保育所も老朽化や耐震性に課題があり新しく整備をする必要があります
三つ目は、市として幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園と子育て支援センターの整備を進めます



在宅の子育て支援も拡充します

初めての子どもですが育児や子育てで大変です。本当は二人目も欲しいのですが、今のままでは不安としんどさで悩みます。子育てが楽しく出来るようになりますか？



「東大阪市で子どもを産み育てたい」と思えるまちづくりを進めています。就労などで保育を必要とされる方のためには待機児童のゼロをめざすだけでなく、病児病後児保育など安心して預けられる施設整備を進めます。また0歳～2歳児までの7割の方は在宅で子育てをされています。育児や子育てに悩み、また孤立してしまわないように、公立の認定こども園や子育て支援センターは、子ども・子育て支援の拠点、地域のセーフティネットとして子育て家庭の集まる場所づくりや子育てサポーターの出前相談、またいつでも預けられる一時預かりの整備など「まちじゅうで子育て応援」を進めます



公立保育所はなくなるのですか



市は公立保育所を全廃するかのような噂を耳にしますがどうということですか？

安心してください。市は、子どもたちに保護者の就労によって幼稚園や保育所に分かれるのではなく、子どもたちに質の高い教育と保育を保障する認定こども園への移行を進めています。また公立保育所は老朽化と耐震の課題もあり、これまでの公立保育所の良いところを継承した公立の幼保連携型認定こども園などに新しく再編整備していくということです。



市内全体の子育て支援を考えて、公立の施設としてリニューアルすることですね。それなら安心してこれからも子どもたちを預けられます。

公立保育所はどう変わるのですか



公立保育所はどのようになるのでしょうか？

公立保育所11園のうち鴻池・荒本・長瀬の子育て支援センターはそのまま継続します。残りの8園のうち、金岡・六万寺・大蓮・石切保育所は、公立幼稚園と再編整備し、これまでの保育内容や質を継承した新しい幼保連携型認定こども園に生まれ変わります。鳥居・岩田・御厨・友井保育所は平成29年度に再度ニーズ調査を行い、平成30年から0歳児の募集停止をするかどうか判断します。



安心して子育てができるように、公立の施設は各リージョン地域ごとに認定こども園と子育て支援センターを地域の子ども・子育て支援の拠点として整備されるのですね。